

セーフティー教室



安全な街って何だろう



この子は「あるる」と言います。

普段はみなさんの街の安全を守る仕事をしている
ALSOKという会社で働いています。

今日は、みんなが安全に、安心して毎日を過ごすために
はどうしたらよいのかを学ぶ、「あんしん教室」でお話
している大切なことを伝えるために来ました。

最近、小学生が事件や事故に巻き込まれるなど、悲し
い出来事が起きています。そんな悲しい出来事が起きな
いように、今日は「あるる」と一緒に安全な街、安心な街
について考えてみましょう。

安全安心について
考えるニャ！



あるる



がいしゅつ とき 外出する時のポイント「^{まち ひそ き けん ば しょ さが}街に潜む危険な場所を探そう」



^{ば しょ あぶ おも} どうしてその場所が危ないと思ったのか、その理由も考えてね。
^{り ゆう かんが}

^{あぶ} 危ない場所

^{あぶ おも} 危ないと思った理由
^{り ゆう}

危険な場所はどこかニャ？





答 上の地図で、「危険な場所」として1番から8番まで紹介しました。この「危険な場所」の共通点、皆さん
分かりましたか？「危険な場所」とは、「まわりから見えにくい場所」で「誰もが入りやすい場所」のこと
です。薄暗い道や、木が生い茂った公園、林道などは、誰か悪いことをしようとしている人が隠れていても
「見えにくい」し、「入りやすい」から危険だね。人があまり通らない道や場所も同じ。だからそういう
場所で、一人で遊んだりするのはやめよう。それと車がたくさん止まっている駐車場では、無理やり車に
つ連れ込まれたり、車にひかれてしまうかもしれない。こういう場所も危険だから気をつけようね。

みんなが危険な目に遭わないように、なるべく人が多く通る明るい道を通るようにしよう。
そして次は、お家の人と一緒に、みんなが使っている通学路をチェックしてみてね。もし、
危険な、怖いなど感じる場所があったら、そこを通るときにはどんなことに注意したら
良いのか、お家の人と話し合ってね。

勉強になったニヤ！
みんなも気を付けるニヤ！

※協力 小宮信夫（立正大学教授）



もしものときに役立つ!

防犯ブザーを持つときの 3つのお約束

- 1 遊びでは絶対鳴らさない
- 2 鳴らしたらすぐ逃げる
- 3 すぐに鳴らせるところにつけておく



「知らせる」「すぐ逃げる」が
大切だニャ!



【保護者の皆さまへ】

防犯ブザーの選び方

防犯ブザーは“いざというとき”にすぐに鳴らせることが大切です。簡単に音が出ることや、周りの人たちがすぐに気づく大音量で鳴るものであること。また、お子さんの成長にあわせて取り付け具の長さを調整するなどの配慮が必要です。

【先生・保護者の皆さまへ】

子どもたちが犯罪に巻き込まれる悲しい事件があとを絶ちません。被害者にならないためには、大人だけでなく、子ども自身にも防犯意識をしっかりと身につけさせる必要があります。防犯意識を身につけさせるには、怖がらせたり、不安に感じさせたりするのではなく、「何が危険」で、「どうしたらその危険から身を守ることができるのか」を子ども自身が判断できる力を養うことが非常に重要です。

略取誘拐がどこで起きているか、場所別に見たのが、下のグラフです。あんしん教室では、被害発生が多い場所ごとに、成長に応じた授業を行っています。お子さんが、あんしん教室を受けて、どう感じたか、何を身につけたかを、ぜひこの教材を基に話し合ってください。

本教材が反復学習のためのツールとして活用され、毎日が安全に過ごせることを願っています。

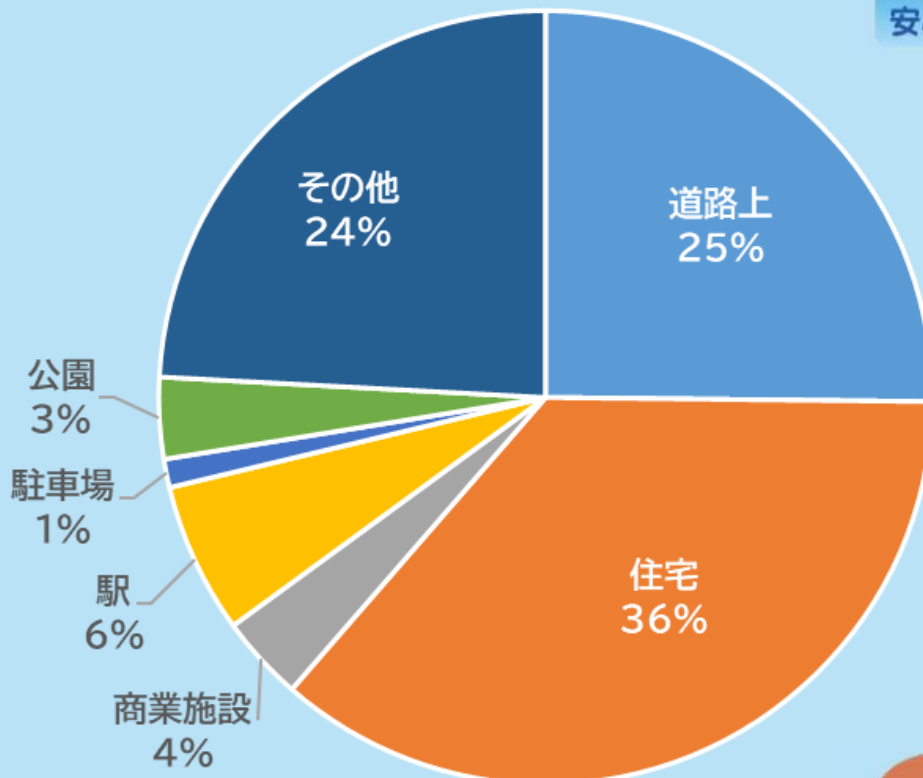


安全な街って何だろう編

略取誘拐・人身売買



安心して登下校編



出典：警察庁「令和6年の犯罪」を基に作成



安心してお留守番編

様々な手口を知って 対応の練習を

●誘い文句の5つのパターン・・・・・・・・・・

子どもに声をかけて悪いことをしようとする人の誘い方には、大きく分けて5つのパターンがあります。子どもにはできるだけ多くの事例を示し、「こんなとき、〇〇ちゃんだったらどうする？」と聞き、実際に声に出して対応の練習をしてください。

1. 子どもの好奇心をそそる、あおる(興味系)

例)「きみ、かわいいね。アイドルにならない？」

タレント事務所を紹介するよ」



2. 子どものやさしい心を利用する(親切系)

例)「迷子になった犬をいっしょに探してくれる？」

3. 子どもを驚かせる(サプライズ系)

例)「お父さんが救急車で病院に運ばれたんだ。」

お母さんから病院に連れてくるように頼まれたから乗って」

4. 子どもが困っている状態につけこむ(困惑系)

例)「雨が降っているから、乗せてあげようか」

5. いきなりいやらしいことを言う(わいせつ系)

例)「下着何色？」

●留守番のポイント・・・・・・・・・・

警察庁の統計によると、「略取・誘拐」や「強制わいせつ」の被害発生場所は、「道路上」と「住宅」が多くなっています。これらの犯罪を防ぐためには、留守番する児童自身が、危険を未然に防ぐ意識を持つておかねばなりません。中学年向け「安心してお留守番」の授業では「留守番は家に帰る前から始まっている」という防犯の心構えを、「いいゆだな」の覚え言葉にして児童に紹介します。

また、留守番中に大地震などの大規模災害が発生した状況を想像させ、家具等の転倒・落下・移動を防ぐための対策や、避難場所、連絡手段等を家族と共有しておくことの重要性について学んでいます。「災害用伝言ダイヤル(171)」の使用方法について、被災状況下で保護者が知りたい情報は何であるかを考え、所定の30秒以内で話す練習を行っています。より安全に留守番ができるよう、ご家族の方と話しあい、伝号を残す電話番号や、避難先を決めておきましょう。

守りのプロがアドバイス『ALSOKあんしん教室』

ALSOKグループが社会貢献活動として行っている出前授業。児童を標的とした事件が社会問題となっていた2004年、地域の通学路を熟知したALSOKの社員が教える「防犯授業」として活動を開始。2012年からは学習を拡大し、「救急救命・命の大切さ」を、2019年より「インターネット」をテーマにした授業を、2023年からは「防災」をラインナップに追加。これまでに全国で、のべ190万人以上の児童が授業を受けています。(2026年3月末現在)



ALSOKは今後も次世代を担う子どもたちをサポートしていきます。

www.alsok.co.jp